

平成23年度 第1回健康づくり審議会議事録

1 開催日時

平成23年6月27日（月） 午後1時30分～3時

2 開催場所

保健センター 2階研修室

3 出席者

(1) 委員

岡本和士委員（会長）、中島貞利委員、森清人委員、
谷川隆子委員、佐野知穂委員、坪井ひろみ委員、鈴木まき委員
（欠席者 大島明子委員）

(2) 事務局

保健センター所長 田中陽子、保健師 権田香、長友妙子

4 議題

(1) あいさつ

(2) 議題

- 1) 平成22年度保健事業実績について
- 2) 平成23年度保健事業について

(3) その他

5 会議資料

- ・ 平成22年度保健事業実績
- ・ 平成23年度保健事業
- ・ 子宮頸がん予防ワクチン接種費用の一部助成について
- ・ ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の一部補助について
- ・ 保健センター事業日程表

6 事業内容（要点筆記）

司会（権田）

それでは、ただ今から、平成23年度第1回健康づくり審議会を開会いたします。私は本日の審議会の司会進行を務めさせていただきます保健センター保健師の権田と申します。宜しくお願いたします。開会にあたりまして、保健センター所長から一言挨拶いたします。

所長

皆さんこんにちは。平成23年度も2か月過ぎて3か月目に入ろうとしております。昨年度は新型インフルエンザの継続などありましたが、3月に東北にて大地震があり、皆さんのところにも多々影響があるのではないかと思います。町

としては町村会から依頼があり、一般職員が一週間支援に行かせて頂きました。保健師についても県からの派遣依頼がありましたが、職員の育児休業中などあり今のところは見合わせている現状です。徐々に復興に向かっていくものと思っております。

今年度も無事に健康づくり事業が順調に進んでいる現状ですので、本日は平成 22 年度の実施状況と、平成 23 年度の事業、また新たな事業も入ってきておりますので、説明させていただきたいと思います。あと、小学校、中学校の PTA の役員交代もありましたので、新しく中学校の方が佐野さん、小学校の方が坪井さんに委員の委嘱をさせていただきましたので、よろしくお願いします。以上です。

司会（権田）

つづきましては、岡本会長から挨拶をいただきます。

会長

皆さん、今日のご苦勞様です。非常に暑いですが、これから問題になるのが高齢者の方が節電によりエアコンをいれずに、脱水症になることがあります。そのため、できるだけ効率よく電気を使い、また健診などの事業に参加していただき、より健康になっていただきたいと思います。今日はよろしくお願いします。

司会（権田）

ありがとうございました。議題に入る前に、審議会等の議事録についてお話しさせていただきます。先回の審議会に説明させていただきましたが、町では、情報公開の一環として町民の皆さんに委員として参加していただく審議会や委員会等の議事録を町のホームページに掲載することになっております。先回の議事録も掲載させていただいております。議事録の内容につきましては、委員の皆様の確認が必要となります。後ほど、会長から議事録署名委員が指名されますので、指名されました委員 2 名の方と会長の 3 名の方でご確認していただきますので、よろしくお願いします。

お待たせいたしました。それでは、これより議題の審議に入ります。会議の進行につきましては、会長の取り回しでお願いします。

会長

それではよろしくお願いします。まず、議事の進行に先立ちまして会議録署名委員の指名ですが、谷川隆子委員と佐野知穂委員を指名いたします。

後日、事務局が本日の会議録に署名をいただきに伺いますので、よろしくお願いします。

それでは、次第に沿いまして、まず議題（1）の平成 22 年度保健事業実績の説明、質疑応答と進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

いします。

事務局

(1) 平成22年度保健事業実績について説明

会長

それぞれの事業について具体的に説明をしていただきましたが、今の説明の中でご質問やご意見がございましたら挙手をお願いします。

委員

高血圧性疾患で亡くなられている方が1名いるが、この方はどのような疾患であったのでしょうか。

所長

死亡票を確認してみないとわからないのですが、高血圧性の脳内出血ですとか高血圧に関する疾患であったと思います。ただ単に高血圧で亡くなったという訳ではないです。

委員

健診の後、要精密検査の方と精密検査を受けた方の数が合わない項目がありますが、そのような方たちはどうなっているのか。非常に大事な問題ではないかと思います。

所長

胃がんや大腸がん等、多々精密検査を受けていない人がいます。健診から半年経っても医療機関から精密検査の結果の返信がない場合には本人に電話や訪問をして確認をしております。以前と比べましては、町内の医療機関で胃や大腸の精密検査ができるようになりましたので、以前よりは身近に行けるようになったため受診される方の数は上昇しております。

委員

乳児健康診査で乳児の保育環境が大事と言われていたが、経過の確認が必要な乳児に対する豊山町の状況について教えてください。

所長

最近非常に子どもさんが多くなり、また核家族も多くなっているため、すぐ身近に相談できる人がいないことがあります。その中でもう少しお母さんが上手にお子さんに関わることで発達が促すことができるのではないかという方たちが保育家庭環境分類で要指導や要観察になっております。その方たちにつきましては、健診の後に子ども健康相談や家庭訪問で相談をしております。また3か月児や10か月児健診を受けた子につきましては赤ちゃん広場に積極的に来ていただいて、他のお母さんたちがどのような保育をしているか学んでいただいたり、こちらの指導を受けていただくことをお勧めしております。

委員

1歳半健診でむし歯があるお子さんが多いが、お子さんのご家庭に共通するような問題があれば教えてください。

所長

1歳半健診でむし歯が多くあった子については転入の方でこれまでの保育状況がわからずこちらでも驚くことがありました。2歳・2歳半・3歳児につきましては飲み物や保育状況について問題のある方が共通してありました。

委員

3歳児健診での要観察児が多く、要指導・要医療の子を合わせると50%を超えているがそれはなぜでしょうか。

事務局

3歳児健診につきましては視力と聴力のアンケートがあり、視力と聴力検査を家でやっていない人達はもう一度家で検査をしていただいてその後判定することになっています。健診当日に検査ができなかった子は要観察と判定しますので、その点で他の健診とは異なる点があると思います。

委員

肺がん検診でがんの方が3名見つかったが喫煙習慣はあったのでしょうか。

所長

3名の方全てに喫煙習慣がありました。また、喫煙指数も高かったです。

委員

高齢者のインフルエンザの接種率が約5割と低いが、どのような背景があるのでしょうか。

所長

西名古屋医師会の所属している医療機関で接種される方は窓口千円で受けていただけます。その他は入院されている方や遠くで受けている方は後で補助金も出しているのですが、ご本人が申請を出されない方も多いです。当町が補助金を出した際の接種率は49.7%となっていますが、実際はもう少し接種率が高いのではないかと考えています。また、前年は新型インフルエンザが流行しておりワクチンが不足していました。平成22年度は新型インフルエンザが入ったワクチンがあったのですが、前年のワクチンがないというイメージがあり、また前年より流行していないというイメージで接種されない人がみえたのではないかと考えています。

委員

子育てアンケートの悩みの相談者で相談する人はいるが解決できている人はどのぐらいいるかというのはわかりますか。相談者はいるという回答は多いが、悩みについて悩みたくないという回答が多いため、相談して解決できているなどの状況についてはわかりますか。

事務局

アンケートの項目としましては、悩みはない・悩んでも解決できるというあたりで、解決できるという人が61%います。ただ、悩みの相談者があってそれによって解決できているかどうかという項目で聞き取りはしていないので、どれくらいの方が解決できているかは把握はしておりません。

委員

相談するけど解決できていないのは逆にストレスがたまることもあるので、そのあたりをチャンスがあれば確認していただくと思います。

会長

それでは引き続きまして、議題（2）平成23年度保健事業について、事務局よりお願いします。

事務局

議題（2）平成23年度保健事業について説明

会長

ただ今の説明について、委員の皆さんからご質問がありましたら挙手をお願いします。

委員

子宮頸がん予防ワクチンの対象者について16歳相当とあるが高校2年生で16歳の子も対象に入りますか。

事務局

こちらは高校1年生が対象になっております。

委員

それ以上の年齢の子が受ける場合は、自己負担はいくらになるか。

事務局

1割の金額で受けてもらえるよう補助しているため、対象年齢外のかたは15,000円になります。医療機関によって値段が異なりますので、ご確認下さい。

委員

老人保健事業の中に骨粗鬆症検診がありますが、歯科で成人の初診の患者さんがみえると口全体のパノラマ写真をとり下顎骨の評価をし、骨粗鬆症のスクリーニングをする事業があるので行政の方からも事業内容を周知徹底してもらえるといいと思います。

所長

健診時の健康教育の中でお知らせをしていきたいと思っております。

委員

子宮頸がんワクチンを受けたいが副作用が怖いため受けるのを迷っている人がいるが、どうしたらよいか。

委員

予防接種をうける利点と副作用のリスクが大きいのか判断するのは本人の問題になります。

所長

子宮頸がんの予防接種が始まった当初テレビやインターネットで痛みが強いとか失神する等が多々報道されすぎたのが原因としてあったのではないかと思います。それを防ぐために予防接種を受けた後は30分は病院で待機して安定してから帰るのが原則ですので、また先生や家族で相談して決めていただけるといいと思います。

会長

他にはよろしいでしょうか、また何かありましたら事務局のほうに問合せ下さい。議題（3）その他について事務局の方で何かありますでしょうか。事務局よりお願いします。

所長

どうもありがとうございました。今年度は2月か3月に健康づくり審議会を予定しておりますので、またよろしくおねがいします。

事務局

本日予定しておりました審議会の議題につきましては、全て終了しました。これをもちまして、平成23年度第1回健康づくり審議会を閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。

議事録の署名

平成23年7月22日

岡 本 和 士

谷 川 隆 子

佐 野 知 穂